

支援プログラム

○ あそぼ、第2あそぼ(児童発達支援)

2025年3月1日作成

法人理念	「自立」と「自律」ができる子どもを育てる
支援方針	一人ひとりに合わせて作成した計画書に基づき、活動や療育を行い、生きる力を育みます。 保護者の方が気軽に立ち寄れる場所として、また子どもたちの心地よい居場所を提供します。
営業時間	8時30分から17時30分まで(月～金曜)
療育時間	9時00分から12時00分まで(月～金曜)
送迎実施の有無	あり(要相談)
支援内容	
本人支援	
健康・生活	健康状態の維持や改善、基本的な生活スキルの習得、生活リズムの形成の支援について考えます。「手洗い」「荷物の片付け」「排泄」「衣服の着脱」などの支援を行います。また個別のスケジュールや活動ごとにエリアを分けるなど、見通しをもって活動できるような環境を準備します。少人数の中で、集団活動の経験ができるようにします。
運動・感覚	トランポリンやバランスボールを使っての粗大運動や指先を使った微細運動、ビジョントレーニング等を通して、楽しみながら体の使い方やコントロールの仕方を身につけ、達成感や意欲を育てていきます。また、身体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。また体ほぐしなど生活しやすい体づくりを目指します。
認知・行動	当日の日付・曜日・スケジュールを視覚で分かるように提示し、概念の習得を図ります。個別活動の中でいろいろな言葉や表現、大小、色、形、数量、文字などに触れる機会を持ちながら、情報処理や認知の偏りに対処し、個々にあった支援を行います。スモールステップで取り組むことで「やってみよう」「できた」の経験につながるよう工夫します。
言語・コミュニケーション	個別または小集団で「絵本」や「言葉でのやり取り」を楽しみながら言葉に触れる機会を作ります。また、行動や気持ちを言語化することで言語や言葉でのいろいろな表現の習得を促します。言語理解の仕方や状況に合わせ、「理解の支援」も行います。遊びを通し、人とのかわり方を繰り返し経験することで気持ちの良いコミュニケーションが身につくよう支援します。

人間関係・社会性	<p>人との関係を築き、信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。小集団の中で、一人遊びから共同遊びへの移行を促し、社会性の発達を支援します。また遊びの中で人とのやり取りやルールを守って活動する経験が出来るようにします。人のかかわりの中で、他者に気づいたり、自分の気持ちや感情が調整できるよう支援します。</p>
その他支援	
家族支援	<p>療育内容やお子様との適切な関わり方をアドバイスします。また保護者の悩みや困りごとを聞き対応を助言したり療育の中で対策に取り組みます。お子様の成長を共に確認し、きょうだい児に関する悩みごとにもアドバイスを行います。</p> <p>保護者向けの講習会や、月1回程度行う事業所内でのお話を案内します。(カフェあそぼ:自由参加)</p> <p>月1回程度お便りを出します。(事業所内でのお子様の姿や、子育てアドバイス、お知らせなど)</p>
移行支援	<p>基本的な学習姿勢を形成し、園での集団生活に必要なスキルの獲得と困った行動への対応を支援します。就学に向けての準備に取り組み、スムーズな移行を目指します。</p>
地域支援・地域連携	<p>各関係機関(園や相談支援事業所、他の通所先)との連携をはかり、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組みや支援会議への参加を通して、お子様とご家族が安心して過ごせる環境づくりに努めます。</p>
職員の質の向上	<p>施設内研修での講義や実習指導、SVIによる実技指導と支援方法への助言、オリジナルのテキスト・動画によるプログラム理解の推進、施設外研修の派遣を行います。また保護者や関係機関と合同勉強会を実施します。</p>
主な行事等	<p>避難訓練(不審者・風水害・地震・火災)を実施します。</p>